

笠原小学校・笠原中学校「外国語(英語)科」における目標の段階表【話すこと(Spoken Production)】

外国語科の目標									
外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。									
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		外国語表現の能力				言語や文化についての知識・理解			
学年	取組	継続	話題	内容	方法	程度	言語知識	文化理解	評価時期・方法
中 第三学年				客観的な事実や様々な考え、経験等に基づいた自分の意見や主張、その根拠等を		60語前後、10文程度の英語で話すことができる。	中学校第3学年で学習する言語材料について正しく理解している。		・パフォーマンステスト ・Let's Talk 1~5 (オリジナルスキット発表) ・LESSON 1 (お気に入りの言葉発表) ・LESSON 2 (日本文化紹介) ・LESSON 6 (偉人紹介)
中 第二学年	つなぎ言葉を用いて、不自然な間を埋めながら積極的に話している。	つなぎ言葉を用いて、不自然な間を埋めながら話し続けている。		自分の考えや気持ち、その理由、体験や事実等を	・構成を工夫してまとまりよく話しながら ・順序立てた言葉を使うなどして、話題の展開を整理しながら ・3段構成など、全体の構成を整えて	40語前後、8文程度の英語で話すことができる。	中学校第2学年で学習する言語材料について正しく理解している。		・パフォーマンステスト ・Let's Talk 1~7 (オリジナルスキット発表) ・LESSON 4 (町紹介) ・LESSON 6 (将来の夢発表) ・LESSON 7 (インタビュー、プレゼンテーション発表)
中 第一学年	自分の考えや気持ち、具体例を述べるなど、話題を提供しながら積極的に話している。	自分の考えや気持ち、具体例を述べるなど、話題を提供しながら話を続けている。	自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等について	自分の考えや気持ち、その理由、身の回りの出来事や事実等を	・結論を先に述べて、具体例をあげたり、説明したりして	30語前後、5~6文程度の英語で話すことができる。	中学校第1学年で学習する言語材料について正しく理解している。		・パフォーマンステスト ・LESSON 1~3 ・Let's Talk 1~9 (オリジナルスキット発表) ・LESSON 7 (プレゼンテーション発表)
第六学年			身近な生活に及び世界について	世界の国々の魅力や自分たちが考えた体づくり運動の特徴等を		20語前後、4~5文程度の英語で話すことができる。	これまでに学習してきたことに加え、自分達が考えた体づくり運動の特徴を説明するときに使う言語材料について正しく理解している。		・パフォーマンステスト 第2回「みんなでやろう体づくり運動」 第3回「どこへ行きたい～世界編～」 第4回 1年間のまとめ
第五学年	質問を繰り返して聞き手を巻き込むように積極的に話している。	質問を繰り返して聞き手を巻き込むように話し続けている。	身近な生活及び日本について	地域の魅力や自分たちが考えたピザや未来の車の特徴等を	・大切な部分に強勢を置いたり、大切な部分を繰り返したりして、伝えたいことを強調しながら ・相手が理解しにくい時に、反対語や例を示したり、絵を描いたりして説明を加えながら	15語前後、3~4文程度の英語で話すことができる。	これまでに学習してきたことに加え、自分たちが考えたピザや未来の車の特徴を説明するときに使う言語材料について正しく理解している。		・パフォーマンステスト 第2回「ユニークピザをつくろう」 第3回「どこへ行きたい?～日本編～」 第4回 1年間のまとめ
第四学年	・間違えることを恐れず、英語を積極的に話している。 ・相手を見て、聞き手に注意をはらって積極的に話している。 ・聞き手の表情を見るなど、話を理解しているか確認しながら積極的に話している。 ・“OK?”等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら積極的に話している。	・間違えることを恐れず、英語を話し続けている。 ・相手を見て、聞き手に注意をはらって話し続けている。 ・聞き手の表情を見るなど、話を理解しているか確認しながら話し続けている。 ・“OK?”等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら話し続けている。	身近な生活及び岐阜県について	地域の魅力や自分達が考えた夢の家の特徴等を	・大切な部分に強勢を置いて ・相手が理解しにくい時に、身振り、手振り等で説明を加えながら ・絵や写真、具体物等を指し示して分かりやすく ・英語特有の音やリズム、イントネーションで発音しながら	10語前後、2~3文程度の英語で話すことができる。	これまでに学習してきたことに加え、地域の魅力や自分たちが考えた夢の家の特徴を説明するときに使う言語材料について正しく理解している。 ・英語特有の音やリズム、イントネーションを理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	・パフォーマンステスト 第3回「わたしたちの夢の家」 第4回 1年間のまとめ
第三学年									
第二学年									
第一学年									

空白のマトリックスについては、その学年において新たな指導内容がないことを意味し、既習の指導内容を繰り返し継続的・系統的に指導するものとする。